

2023

2・3

No.433

埼玉経協

SAITAMA Employers' Association

ニュース

[CONTENTS]

- 02 令和5年「新年会員懇談会」
挨拶・特別講演の部、懇親会の部
- 03 令和5年 新年会員懇談会 写真集
- 04 第21回「渋沢栄一賞」表彰式
- 05 **第6回特別セミナー** 「シニア活躍について考えるセミナー」
- 05 **第3回SDGs委員会** 「発達障害者雇用に向けた企業支援セミナー」
- 05 **第6回SDGs委員会** 「障害者雇用促進セミナー」
- 06 2022年度4地区共催「秋季地区協議会」
- 06 「ものづくり大学 特別公開講座」
- 07 **第7回特別セミナー**
「『建設的な衝突』でチームワークを最大限に引き出すリーダーシップ」
- 07 **第5回トップセミナー** 「ソーシャル・ポジショニング」とは？
- 08 **人事・労務セミナー** 「多様な働き方と企業に求められる労務管理とは？」
- 08 **第6回トップセミナー** 「キーエンスに学ぶ『成果に繋がる』データ活用」
- 09 **教育関連事業** 「キャリアデザインセミナー～企業経営者と生徒・保護者・教員による四者面談会～」
- 09 **第4回SDGs委員会** 「特別支援教育の現場視察と意見交換会～県立戸田かけはし高等特別支援学校～」
- 10 **青年経営者部会** 12月例会・講演「マーケティングの視点からみる競争軸を変えるブランド戦略」
- 10 **青年経営者部会** 1月例会・講演「組織・管理職のマネジメントからみる経営者のこれから」
- 11 **青年経営者部会** 千葉・茨城との合同例会「日立製作所視察会」
- 12 埼玉大学研究者との出会いの広場
- 13 「ものづくり大学」へようこそ
- 14 埼玉県からのお知らせ
- 16 ワンポイント労働法「労基署長の労災認定誤りを使用者は争えるか」
- 16 告知版、会員の動き



一般社団法人 埼玉県経営者協会

<https://www.saitamakeikyo.or.jp>

新年会員懇談会

》令和5年 新年会員懇談会

新年会員懇談会 3年振りに開催、 新年の顔合わせに会員130名が参加

日時 1月11日(水) 場所 パレスホテル大宮

参加者 130名



開会挨拶をする
原敏成 本会会長

令和5年新年会員懇談会は3年ぶりにパレスホテル大宮で開催された。コロナ禍もあり、ご来賓へのご案内はごく一部限定的に行い、会員主体の懇談会となった。

特別講演では、視覚障害がありながら北京パラリンピックに出場し、現在では実業家として活躍する株式会社ユニバーサルスタイルの代表取締役 初瀬 勇輔氏が「迷ったときこそ必要な行動するチカラ」と題して講演、障害者の現状と課題などを力説した（講演概要は後述）。

懇親会では久しぶりという方も多数参加し、新年の挨拶と情報交換などで和やかに親交を深めていた。

【第1部 挨拶・特別講演の部】

開会挨拶 原敏成 会長（武州瓦斯(株)代表取締役社長）

来賓祝辞 清水 勇人 さいたま市長

事務局報告

特別講演 演題 「迷ったときこそ必要な行動するチカラ」

講師 株式会社ユニバーサルスタイル
代表取締役 初瀬 勇輔氏

【第2部 懇親会の部】

開宴挨拶 橋本 義昭 副会長（埼玉縣信用金庫 会長）

来賓祝辞 大野 元裕 埼玉県知事

閉宴挨拶 細田 千恵 副会長（東京ガスネットワーク株式会社 埼玉支社長）

》令和5年度新年会員懇談会 特別講演

迷ったときこそ必要な行動するチカラ

講師 株式会社ユニバーサルスタイル 代表取締役 初瀬 勇輔氏

講演をする
初瀬 勇輔氏



◆障害とは

2001年以前では、「障害」を機能・形態・能力障害・社会的不利というマイナスな面のみを捉えていた。世界保健機関（WHO）が、「障害」の全体像を把握すること、「障害」への偏見や差別を無くすこと等を目的に国際障害分類を改定した。このことにより、「障害」=「できない」ではなく、「こうすれば『できる』」といったポジティブな考え方で「障害」を捉えようとするのが世界的に主流になった。つまり、「障害」は個人が保有するものではなく、社会や環境側にあるという考え方に変わった。例えば、日本には近視の人が約4,000万人いるが、眼鏡が無い時代であれば、「視覚障害者」となる。眼鏡によって近視が「視覚障害」ではなくなったように、社会や環境の変化によって「障害」が「障害」ではなくなる。

◆パラリンピックについて

1948年、戦争により脊髄損傷麻痺（パラプレジア）した兵士たちのために、英国のストーク・マンデビル病院で行われた競技大会が起源である。それまではリハビリテーションという概念がない中で、「失われたものを数えるな、残されたものを最大限に活かせ」と

いう哲学のもと、競技大会がはじまり、現在に至る。

◆行動するチカラ

行動すると自分が変わる、自分が変わると世界が変わる。「人間の可能性の祭典」であるパラリンピックで大事とされている精神に、『Impossible（不可能）』から『I'm possible（私はできる）』がある。そして、パラリンピックのシンボルマークの名前は「アギトス」で、ラテン語で「私は動く」という意味。どんな状況でも行動し続けることで機会と縁が集まってくる。

◆障害者雇用の現状と課題

障害者雇用率制度により、民間企業は従業員の2.3%にあたる人数の障害者を雇用しなければならないが、障害者が活躍できる職場が少ないのが現状である。

障害者が活躍できる職場のヒントとして、4つの合理的配慮がある。①動線の確保による物理的配慮、②手話通訳や音声ソフト等の活用による情報提供の配慮、③フレックス勤務などによる制度的配慮、④偏見や差別がない環境の心理的配慮の4つである。これは障害者だけではなく、傷病や育休からの復帰といった場合にもプラスに働き、従業員全体にとっても働きやすい環境の実現に繋がる。

》令和5年 新年会員懇談会 写真集

第1部 挨拶・特別講演の部



開会挨拶する原敏成会長



来賓祝辞
清水勇人さいたま市長



会場風景



特別講演風景



特別講演
『迷ったときこそ必要な 行動するチカラ』
(株)ユニバーサルスタイル 初瀬 勇輔 代表取締役

第2部 懇親会の部



開宴挨拶・橋本義昭副会長



来賓祝辞・大野元裕埼玉県知事、会場での祝辞の様子



懇談風景・大野県知事、初瀬講師のスナップ



懇談風景・大野県知事と協会首脳陣のスナップ



閉宴挨拶・細田千恵副会長



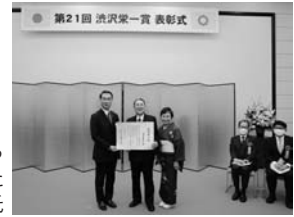
閉宴（中締め）のスナップ

渋沢栄一賞表彰式

》第21回(令和4年度) 渋沢栄一賞表彰式

小林幸雄氏、丹羽公男氏、福田秋秀氏の 三氏が渋沢栄一賞を受賞

日時 2月8日(水) 場所 ソニックシティ・国際会議室



大野 元裕 埼玉県知事から
賞状を受け取った
福田 秋秀 氏

第21回(令和4年度)の渋沢栄一賞は、大鵬薬品工業(株)(東京都千代田区)特別相談役 小林 幸雄 氏、タイム技研(株)(愛知県丹羽郡)名誉会長 丹羽 公男 氏、本会会員の(株)エフテック(埼玉県久喜市)最高顧問 福田 秋秀 氏の三氏が受賞し、表彰式が行われた。

「渋沢栄一賞」は、多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力し、近代日本の礎を築いた渋沢栄一の生き方や功績を全国に発信するとともに、今日の企業家のあるべき姿を示すため、渋沢翁の精神を今に受け継ぐ全国の企業経営者に贈られるもの。受賞者および受賞理由は次のとおり。(受賞者は50音順)

❖^{こばやし ゆきお}小林 幸雄 氏(大鵬薬品工業株式会社 特別相談役)

◇会社概要◇

医薬品等製造業、1963年創業、従業員数2,187人



◇優れた経営◇

- ・1969年、ラトビアより新規抗がん剤の導入を決定、当時まだ世界的にも汎用されていない経口抗がん剤として開発に成功、1974年発売
- ・経口抗がん剤により自宅で日常生活を送りながらの外来治療を可能にし、入院で外科の治療が主流だったがん治療に新たな道を切り拓く
- ・外科手術後に経口抗がん剤の服用によりがんの再発予防を目指す「術後補助科学療法」を確立し、抗がん剤治療の発展につなげる

◇社会への貢献◇

- ・2006年に小林がん学術振興会を設立、がん薬物療法や先駆的治療法に関する研究などへ助成等を実施

❖^{にわ きみお}丹羽 公男 氏(タイム技研株式会社 名誉会長)

◇会社概要◇

ガス・水・電子の機能部品の開発・製造業、1978年創業、従業員数264人



◇優れた経営◇

- ・220社以上と取引しており、ガス部門の売上の

75%は海外市場

- ・海外ガス機器の厳しい環境基準をクリアする高性能ガスバルブを開発し、国内外から高い評価
- ・2015年、(公社)中小企業研究センター主催のグッドカンパニー大賞にて優秀企業賞の受賞

◇社会への貢献◇

- ・1996年タイム技研社会貢献委員会を設立、同社の税引前利益の1%と丹羽氏の私財を活動基金とし社会貢献や慈善的寄付の実施(2010年法人格を取得)
- ・2003年岐阜県関市の山林を購入し、山林整備ボランティア活動を実施、山林の間伐材を大口町の保育園建設資材に提供、毎年1回保育園児等の遠足の受入を実施

❖^{ふくだ あきひで}福田 秋秀 氏(株式会社エフテック 最高顧問)

◇会社概要◇

自動車部品・附属品製造業、アルミ・同合金プレス製品製造業 1947年創業 従業員数775人



◇優れた経営◇

- ・革新的な経営手腕により、機能部品の開発・生産効率・品質・採算等の向上を図るべく、研究開発・設計・プレス・溶接・塗装・組立の全てを自社で行う一貫加工体制を構築
- ・北米・アジアを中心に開発・生産拠点を海外に設立し、グローバル化の礎を構築

◇社会への貢献◇

- ・同社は2016年にエフテック奨学財団を設立、2021年までに約180名の学生に奨学金を給付(2017年に福田氏が同社株式を寄付)

- ・早稲田大学へ継続的かつ多大な貢献を実施、同大学は福田氏に名誉称号「維持員」を贈呈し、大学11号館に「福田秋秀講評を行う 利根 忠博 本会名誉会長(渋沢栄一賞選考委員長)を設置



講評を行う
利根 忠博 本会名誉会長
(渋沢栄一賞選考委員長)

》令和4年度第6回特別セミナー

『シニア活躍について考えるセミナー』

日時 12月7日(水)

場所 大宮ソニックシティ

吉澤 励氏



参加者 20名

講師 公益財団法人産業雇用安定センター インストラクター 吉澤 励氏

◆高齢者の生き方、働き方を再認識

現在、高齢者の生きがいとして、「子供や孫の成長」、「友人との交流」とともに「働くこと」がトップ5に入っている。男性、女性ともに平均寿命と健康寿命は右肩上がりであり、それに伴って高齢者の従業員数も年々増加傾向にある。また、60歳を対象にした「何歳まで働きたいか」という意識調査では、「70歳以上～働けるうちはいつまでも」と回答した割合が約8割と働く意欲が高いことが伺える。

◆高齢者の意識改革について

働く人々が多様な働き方を選択できる社会を実現する働き方改革の推進により、企業と個人の関係は大きく変化した。企業は、終身雇用や定年退職が前提だった時代から、多様な雇用やセカンドキャリアサポートといった新しい雇用形態に変化した。個人は、自分のキャリアを会社に任せるだけでなく自分自身で考

え、また会社と対等であるという意識に変化した。

こうした変化は、高齢者にとっても自らのキャリアに責任を持ち、意志を持って自身を絶えず成長させていくという自律的なキャリア意識改革を促した。

◆高齢者の働くモチベーションについて

マズローの「欲求5段階説」によれば、「自己実現欲求」が最も高い欲求である。高齢者のモチベーションは、働くことを通して新たな自分を再発見し、「自己実現」をしていくことだと言える。高齢者として働くうえで、仕事のノウハウを若手に伝承する、組織の下支えを担うなど様々な意義を見出すことが大事である。

◆キャリアバンクについて

産業雇用安定センターでは、生涯現役社会の実現に向けて、66歳以降も働きたい方と高齢者雇用を積極的にやりたい企業をマッチングするキャリアバンクを運営しているので是非とも活用していただきたい。

》第3回、第6回SDGs委員会

発達障害者、障害者の雇用に関するセミナーを開催

①「発達障害者雇用に向けた企業支援セミナー」 (第3回SDGs委員会)

日時 12月16日(金)

参加者 72名

説明を行う
栗原 理恵氏



場所 大宮ソニックシティ

共催 埼玉県経営者協会、埼玉労働局、埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」、埼玉県

講師 「発達障害者の特性の理解」
埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」
相談員 及川 毅征氏

説明 「障害者法定雇用率と雇用助成金制度」
埼玉労働局職業安定部職業対策課
課長補佐 栗原 理恵氏

発表① 「埼玉県の発達障害者就労支援の取組みと発達障害者を雇用する企業からのメッセージ」
①-1 入間市障害者就労支援センター「りぼん」
①-2 ウエルビー株式会社 ジョブセンター川越
①-3 カンロ株式会社 首都圏東支店

発表② ②-1 NPO法人東松山障害者就労支援センター
②-2 障がい者就業総合相談室リレーションシップセンター久喜

①「発達障害者雇用に向けた企業支援セミナー」

今回で11回目となるセミナーで、発達障害のある方の支援に関わる人に対して、発達障害のある人を支援する上で知っておきたい基本的知識の説明と、雇用を行う企業や就職者からの生の声を報告した。

②「障害者雇用促進セミナー」 (第6回SDGs委員会)

日時 2月13日(月)

視聴者 66名

場所 オンライン配信

共催 埼玉県経営者協会、埼玉県、埼玉労働局

講演 「精神障害者の就労支援と雇用管理」
田園調布学園大学人間福祉学部
教授 中川 正俊氏

案内 「障害者を雇用するにあたって」
埼玉県障害者雇用総合サポートセンター
企業支援業務部門 部門長 吉原 市郎氏

発表 「週20時間未満から始める障害者雇用」
東京紙器株式会社
取締役副社長 山田 秀嗣氏



中川 正俊氏



吉原 市郎氏



山田 秀嗣氏

②「障害者雇用促進セミナー」

今回は、オンラインで開催し、精神障害者の就労支援と雇用課題について、学識経験者の講演、行政からの支援体制と活用方法の説明、実際に精神障害者を雇用した企業は雇用する課題と意義などについて発表した。

セミナー開催結果

》令和4年度 南部・中部・西部・北部地区合同「秋季地区協議会」を開催

『深谷テラス・ヤサイな仲間たちファーム』と『ふかや花園プレミアム・アウトレット』の2箇所を視察

日時 12月9日(金) **場所** 深谷市

参加者 12名

説明 深谷市役所産業拠点整備室
深谷ベジタブルコミュニケーション(株)、三菱地所・サイモン(株)

ヤサイな仲間たちファーム前での集合写真



深谷市が花園インターチェンジの近接地に、新たな観光拠点を設置し、市外・県外からの人を呼び込み、農業と観光の振興に寄与することを目的とする「花園IC 拠点整備プロジェクト」。コロナ禍の影響もあって3年振りの視察会開催となった「秋季地区協議会」は、4地区の合同開催という形で、深谷市に設置した2施設を視察した。

①深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム

2022年5月28日オープン。事業者はキューピー(株)。テラス(公共ゾーン)は深谷市が造成し、公園緑地としての活用を目指す。農園や地元野菜直売所も備える。

【施設説明】 深谷市役所産業拠点整備室/小暮 正樹 立地促進係長、深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム/大木 賢一 取締役支配人

②ふかや花園プレミアム・アウトレット

2022年10月20日開業。事業者は三菱地所・サイモン(株)。出店テナントは137店舗。国内10カ所目のプレミアム・アウトレットで日本最大クラス展開を計画している。

【施設説明】 ふかや花園プレミアム・アウトレット/相本 泰裕 支配人

このプロジェクトの玄関口として、秩父鉄道新駅「ふかや花園駅」も開業し、駅からも徒歩3分という好立地で、今後の北部地域の活性化に繋がることが大いに期待される。



挨拶：北部地区協議会
橋元 健 議長



挨拶：南部地区協議会
牛窪 啓詞 議長

》2022年度「ものづくり大学特別公開講座」/ものづくり大学、経営者協会共催

「からくりは日本のものづくりの源流」

からくり人形の実演をする
九代玉屋庄兵衛氏



日時 12月19日(月)

場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 大宮

参加者 74名

講師 九代玉屋庄兵衛氏・尾陽木偶師、現代の名工
末松 良一氏・名古屋大学 名誉教授、愛知工業大学 客員教授

本会とものづくり大学との共催で開催している「ものづくり大学特別公開講座」、2022年度は『からくりは日本のものづくりの源流』をテーマに、からくり人形の実演と解説、からくり人形の歴史と現代の日本のものづくりに通ずる創意工夫などに関する講演を行った。

講座では冒頭、長谷川 真一 ものづくり大学理事長と原 敏成 本会会長が主催者挨拶、その後、からくり人形の実演と解説、歴史や学ぶべきものなどについての講演が行われた。

【講演】「からくりは日本のものづくりの源流」

講師：九代玉屋庄兵衛氏・尾陽木偶師・現代の名工

“茶運び人形”と“弓曳き童子”の実演と解説を行い、からくり人形の素材選びから機構、装飾や創意工夫など、特長を詳しく解説した。関東ではなかなか見ることの出来ないからくり人形の精巧な仕組みと動きに、会場からは自然に驚嘆の声と拍手が起こった。

講師：末松 良一氏・名古屋大学
名誉教授、愛知工業大学
客員教授

講演では、からくりの発祥と浸透、江戸からくりの発展経緯、山車からくり祭の意義などとも

に、からくり人形の創意工夫、世界的潮流にもなっている「からくり改善」活動などについて詳細に解説、末松氏は「からくりは創意・工夫の源流、科学・技術・技能は三位一体、からくり改善は省エネルギーと働きがいに繋がる」と力説した。

講座は最後に、國分 泰雄 ものづくり大学学長が講師への謝辞と挨拶を行い、閉会した。



講演する
末松 良一氏



左より主催者挨拶の長谷川 真一 ものづくり大学理事長、原 敏成 本会会長、閉会挨拶の國分 泰雄 学長

》令和4年度 第7回特別セミナー

『建設的な衝突』でチームワークを最大限に引き出すリーダーシップ

日時 12月20日(火) **参加者** 21名 **場所** 大宮ソニックシティ

講師 プロアドベンチャーレーサー（イーストウインドプロダクション代表）田中正人氏



田中正人氏

◆アドベンチャーレースとは

世界で最も過酷と言われるアウトドアスポーツ。山、川、砂漠などあらゆる自然を舞台に男女混成チームが協力して、トレッキング・マウンテンバイク・パドリングなど多様な種目をこなし、夜間もノンストップで1,000kmちかいコースを走破する。体力・知力・精神力のみならず、チームワークやコミュニケーション能力も必要になる。これは社会で求められることと同じである。

◆強いチーム形成に不可欠な「建設的衝突」

チームの発展段階は4つある。人が集まった第1段階「目的不統一期」、メンバーが目的やゴール等を本音で擦り合わせる第2段階「衝突期」、共通の目的を共有できている状態の第3段階「意思統一期」、個々が自律して協力し合う状態の第4段階「ハイパフォーマンス期」である。日本の企業や組織は「衝突期」を避けているケースが多い。

「衝突期」に大事なことは、メンバー同士の信頼関係の上に成り立つ「建設的な衝突」である。「建設的な衝突」を行うためには、①明確な目的、②自己責任と謙虚さである。明確な目的がなければ有意義な「衝突」はできない、自己責任と謙虚さが無いと相手に対して怒りや不満を抱くだけで前に進まない。

◆リーダーは「感謝」すべし

リーダーが①高すぎる目標設定、②達成できていない部分の指摘、③人格否定の3つを行うことは、メンバーの士気を挫くだけである。人は意識しなければダメ出しばかりする生き物と自覚する。メンバーがいてくれるだけで「ありがとう」と思うだけで良い。

◆どこまで頑張るのか、基準を定める

メンバー全員の意識、行動がぶれないための基準を明確に共有できれば、妥協なき姿勢で「弱い人に合わせる」のではなく「弱い人を引き上げる」という強いチームとなる。

》第5回トップセミナー

変化の時代を生き残る新・マーケティング論 「ソーシャル・ポジショニング」とは？

～SDGsやESG等の“社会”を意識した新しいマーケティングの実践方法を学ぶ～

日時 1月27日(金) **場所** オンライン

参加者 20名

講師 株式会社博報堂 生活者エクスペリエンスクリエイティブ局 戦略CD/PRディレクター 菅順史氏



菅順史氏

◆ソーシャル・ポジショニングとは

企業を取り巻く環境が急激に変化しSDGsやESG等が浸透しつつある現代において、今後は市場の中で競合との差を争うのではなく、社会の中で独自の役割を示すことがマーケティングの武器になる、という観点から、(株)博報堂の菅順史氏が開発したマーケティングの新しいメソッド。社会から応援される企業になるためには、どのようなマーケティング思考や社会とのコミュニケーションが必要なのかを考える。

◆ソーシャル・ポジショニングが求められる背景

「企業好意の源泉」が技術品質や利便性から、変化に対応し社会に不可欠な存在であることへシフト。ブランドの思想や姿勢を事実・実態で整理し、社会課題と関連づけてポジションを明確化し、社会の中で役割を示すことが重要になってきている。

◆社会に対する7つのポジションとは

世論を味方につけることに成功した企業は社会の中

でどんなポジションをとっているのかを7種に類型化。

- ①**応援者**：変化の中で課題を抱えている生活者に寄り添い応援する
- ②**挑戦者**：みんながみたくなる未来を掲げて社会を牽引する
- ③**破壊者**：非合理的な慣習や理不尽な固定観念を打ち破る
- ④**民主化**：一部の人ができなかったことをあらゆる人ができるようにする
- ⑤**新世代**：新しい価値観を体現し世代交代をリードする
- ⑥**シンボル**：社会で争点となっている国民的テーマの代名詞となる
- ⑦**逆張り**：大勢に疑問を投げかけ新しい選択肢を提示する

最新のマーケティング手法と多くの企業事例に触れ、実践に向けたワークシート作成も含め、新しい時代のビジネス成長のヒントを得る貴重な機会となった。

セミナー開催結果

》令和4年度『人事・労務セミナー』

「多様な働き方と企業に求められる労務管理とは？」

日時 1月30日(月)

場所 大宮ソニックシティ

参加者 13名

講師 MMG 社会保険労務士法人 代表社員 岡田 典子 氏



講師の岡田 典子 氏

働き方改革と新型コロナウイルスの感染拡大は、企業も社員もそれぞれ従来の意識や行動を変えるきっかけとなり、労働や雇用形態、働き方に多様性が求められる転換期を迎えている。

企業は、この変化を柔軟に受入れ、後戻りさせないための変革が急務で、特にますます複雑化する社員の労務管理は企業にとって大きな課題となっている。

今回は『人事・労務セミナー』として、「多様な働き方と企業に求められる労務管理とは？」をテーマに、働き方改革関連法の基本的な背景と労務管理の留意点について、MMG社会保険労務士法人 代表社員で特定社会保険労務士の岡田典子氏を講師に迎え、労務管理実務に精通している専門家の観点から解説い

ただいた。

【セミナーの主な内容】

- ①働き方改革関連法の基本的な背景
- ②働き方・休み方の現状
- ③多様な働き方の取組
- ④高齢者雇用のポイントと実務
- ⑤働き方改革関連法、2023年法改正内容

岡田講師は①の解説の中で、「働き方改革を実効性あるものにするためには、会社の風土も変革し、会社全体で取り組む必要がある。また、女性の視点を活用することも大切」と強調した。

②～④では、各調査機関の実態調査の解説や多様な働き方の実例などを紹介した。

》第5回トップセミナー

キーエンスに学ぶ「成果に繋がる」データ活用

～高収益を支えるデータ活用組織づくりのコツ～

日時 2月27日(月)

場所 大宮ソニックシティ

参加者 23名

講師 株式会社キーエンス データアナリティクス事業グループ
マネージャ 柘植 朋紘 氏



柘植 朋紘 氏

めまぐるしく変化するビジネス環境の中で、DXやデジタルマーケティングへの関心が高まっているが、その一方で、蓄積したビジネスデータをどう活用し、営業成果に繋げるかが喫緊の課題となっている。その様な中、「今あるデータ」を活用し、売上5,000億を超える中で営業利益率55.4%という驚異的な高収益を上げているのが、(株)キーエンス。高収益の源泉の一つである「成果に繋がるデータ活用」をテーマに、同社データアナリティクス事業グループ マネージャの柘植朋紘氏より、同社におけるデータ活用の試行錯誤の歴史、データ人材育成のこだわり等に関して、貴重な講演をいただいた。

◆キーエンスデータ活用 試行錯誤の歴史

データ分析ビジネスを实らせるまでの過去10年にわたる試行錯誤の中で、「外部に頼りすぎる」「ツール

に頼りすぎる」「高度人材に頼りすぎる」という3つの壁がはだかり、悪戦苦闘したプロセスを共有いただいた。

◆データ活用人材育成のこだわり4点

データ活用人材育成のこだわりとして、「ROIを短期に求めすぎない。途中プロセスを評価し、人を育てる」「たかがデータ、されどデータ」「組織が動くコトバを企む」「『あたりまえの分析結果』こそ、日常を変え、組織を変える」ことの重要性をお話いただいた。

講演後半では活発な質疑応答が行われ、多様な質問に率直にお答えいただいた。「スモールスタートから成功事例を作っていくこと」「デジタルを活用する『人』のビジネス力も大切」といった、成果に繋がるデータ活用が叶う組織づくりに関するヒントを得る、貴重な機会となった。

》教育関連事業

キャリアデザイン・セミナー

～企業経営者と生徒・保護者・教員による四者面談会～

- 日時** 1月21日(土) **場所** 新都心ビジネス交流プラザ
- 参加者** 14組・42名 **主催** 埼玉県教育委員会
- 講師** 下記5名



面談の様子

四者面談会は平成15年度より実施され、今年度で通算19回となった。企業経営者から働くことの意義や心構えなどに関するアドバイスを受けることで、生徒に進路を選択する能力の向上や望ましい勤労観・職業観の育成を図るとともに、生徒・保護者・教員の進路選択に対する意識を啓発することを目的としている。

最初は緊張した面持ちの参加者も、講師の皆様の温かい対応により、徐々に和やかな雰囲気となり、参加者は質問をしたり、メモを取ったりしながらアドバイスに耳を傾けていた。

面談終了後の生徒アンケートでは「とても貴重なお話を聞いて、いい時間だった。これからいろいろな経験をしていきたい」「必要な人材に近づけるように視野を広げたい」などの感想が見られた。

保護者からは「一つの事に絞らず、視野を広げて考える事に気付けた」「経営者とお話をする機会は滅多にないので大変有意義であった」などの感想が寄せられた。

先生方からは「この貴重な経験をこれからの進路指導に生かしていきたい」や「生徒の普段見ない姿が見られてよかった」などの感想が寄せられた。

参加企業 経営者 (敬称略)



中込 秀明
富士電子株式会社
代表取締役会長



松本 伸一郎
株式会社松本商会
代表取締役社長



根岸 節子
社会福祉法人隼人会まきば園
理事長



伊藤 麻美
日本電鍍工業株式会社
代表取締役



廣澤 健一
一般社団法人埼玉県経営者協会
専務理事

》第4回SDGs委員会

特別支援教育の現場視察と意見交換会

～県立戸田かけはし高等特別支援学校～

- 日時** 2月10日(金) **場所** 県立戸田かけはし高等特別支援学校
- 参加者** 4名 **共催** 埼玉県教育委員会



県立戸田かけはし
高等特別支援学校
松田校長挨拶



県教育局県立学校部
特別支援教育課
鈴木指導主事挨拶

県立戸田かけはし高等特別支援学校は、令和3年4月開校の県立では37校目となる特別支援学校である。高校の敷地内に設置されている特徴を生かすとともに、高等部単独校として、実社会を見据えた自立と社会参加に向けた教育活動の充実を目指している。

当日は雪の降る中での実施となったが、先生方の協力と生徒の明るく元気な挨拶のおかげで和やかな雰囲気で見学することができた。

授業見学・施設見学では、①カフェ/食品加工②オフィスサービス/受注③縫製/手工芸④紙工⑤水耕・園芸⑥陶芸⑦木工⑧メンテナンスの8つの作業学習を中心に見学した。どの授業も一生懸命に作業に取り組む生徒の姿が見られました。また、当日は学校内Café「虹のかけはし」が営業しており、生徒の接客を受けコーヒーや焼き菓子などを購入することができ

た。地域の住民も大勢利用していて、とてもにぎわっていた。

学校概要では、特別支援学校全般の説明や学校の特徴、日課表や作業学習について、進路概要では、卒業生の進路状況や、進路指導方針、卒業後の支援体制などについての詳しく丁寧に説明していただいた。

参加者からは「ぜひ職場体験などで協力したい」「地域の学校なので積極的に連携したい」などのご意見をいただき、少人数ながらも充実した視察会となった。



概要説明・意見交換の様子



授業見学(陶芸)の様子

青年経営者部会

》青年経営者部会 12月例会

「マーケティングの視点からみる 競争軸を変えるブランド戦略」

日時 12月15日(木) **場所** 大宮ソニックシティ
参加者 16名 **講師** 株式会社ブランドテラー 代表取締役 乙幡 満男氏



乙幡 満男氏

◆「ブランド」について

ブランドは経済的価値を生み出す。同等の価格・品質・スペックでもブランドがあれば「選んで」もらえ、「高く」買ってもらえる。ゆえに、強いブランド作りが大切である。製品やサービスは企業視点（工場等）で作られるが、ブランドは顧客視点（顧客の頭の中）で作られる。ブランドとは、顧客との様々なタッチポイント（接点）を通じて作られていく。タッチポイントとは、例えば、商品デザイン・従業員・広告など顧客が接する全ての要素である。タッチポイントを通じて、ブランドは顧客に評価され、顧客の頭の中に蓄積される。

強いブランドは、それぞれのタッチポイントで「らしさ」を表現して作り上げている。例えば、ロゴを隠していてもこの企業かが分かるなどのレベルまでブランドが顧客の頭の中に蓄積されていけば、ブランドとして非常に強い。強いブランドは、タッチポイントで一貫性のある「らしさ」を形成していくことで作られる。タッチポイントで統一感（らしさ）が無ければ顧客の頭にブランドは蓄積されない。

◆ブランド戦略について

・「ブランディング」とは何か

ブランディングとは、自社のブランドが目指す理想像とのギャップを埋め、ブランド価値を高めていくことである。長期的な利益の源泉を確保するためには、ブランドの価値を高めることは必須である。例えば、価格競争不要、従業員のエンゲージメント向上、人材確保や取引交渉が有利になるなどのメリットがある。そして、企業にとってブランドとは、「常に変化するビジネスの資産」でもある。

・「ブランディング」はどうやるのか

ステップ1は自社・顧客・競合分析と調査、ステップ2は目指す姿の構築（ブランド戦略策定）、ステップ3はブランドの「らしさ」を構築（ブランド戦略実行）と効果検証である。この基本サイクルを回している企業が実は少ない。ポイントは、勝てる要因にブランドの提供価値があるという点。勝てる要因とは、①自社の強みが発揮できる、②競合に対して違いを出せる、③顧客が深層心理で求めている、この3つが重なる所である。

・「顧客」は誰か

顧客を「20代女性」など大雑把な区分で分析しても意味はない。「20代女性」の中でも価値観は多種多様のため、売り手発想ではなく、顧客のホンネ（インサイト）を理解する。

・「差別化」する

差別化とは、競合が真似できないような、自社の独自のユニークさが顧客に魅力的な価値と認められることである。自社の差別化できる部分（ブランドの提供価値）は何か、顧客のベネフィットが何かといった「ブランドの目指す姿」を明確にすることが肝である。

◆ブランド価値を向上させる意義

ブランドとは、単なる企業の利益貢献のためだけのものではない。企業の経営理念・哲学・パーパスを具現化したものであり、コーポレートブランドの価値を高める資産である。

そして、モノやサービスが良くても売れない時代、競争に勝つために、また、10年後も生き残れるかどうかは「ブランディング」にかかってくる。

》青年経営者部会 1月例会

経営者はどうあるべきか

～組織・管理職のマネジメントからみる経営者のこれから～

日時 1月25日(水) **場所** 大宮ソニックシティ
参加者 14名 **講師** 株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチ代表 佐々木 常夫氏



佐々木 常夫氏

『第1部 講演会』

◆誰もが仕事と私生活の充実を求めている

実現できない最大の障害の一つが長時間労働と非効率労働である。仕事の成果と長時間労働は必ずしも関係はない。長時間労働と非効率労働という障害を解決するヒントがタイムマネジメントである。

◆タイムマネジメントはすべての基本である

仕事は計画策定と重要度を評価して着手する、この基本ができていない経営者や社員が意外と少ない。タイムマネジメントとは、①最も大事なことは何かを正しく掴むこと、②時間の管理ではなく仕事の管理であるということが基本である。

◆タイムマネジメントの3本柱

・計画先行、戦略的仕事術

戦略的計画立案を最初に行うことが仕事を半減させる。例えば、品質基準を最初に定める、締切を決める、最初に全体像を描くといった基本のことである。

・時間節約、効率的仕事術

プアなイノベーションより優れたイミテーションが最も時間を節約する。全てを0から作ろうとせず、過去の優れたものなど利用できるものは全て使う。長時間労働は、「プロ意識」、「想像力」、「羞恥心」の欠如。

・時間増大、広角的仕事術

捨てる仕事を決める、会議は極力行わない、「本当に必要か」を考えれば、捨てることができる。そして、部下を持つ立場であれば、部下がやらなくていい仕事を明確に指示することが大事である。

◆これからの時代の経営

・ビジネスは予測のゲームである

経営者にとって大事なことは「今」を掴み、「未来」がどうなるのかを予測して動くことである。従業員は

何を考え、顧客は何を欲し、環境はどう変わるのかを捉えなければならない。

・経営にセオリーはない

自社に合う経営はそれぞれである。「選択と集中」が必ずしも正解ではない。例えば、東レでは、炭素繊維事業は十数年間赤字だったが、黒字にする努力をし、今では主力事業に成長している。顧客のニーズについても分からないものは分からない、「何かに繋がるかもしれない」と続けることも立派な正しい経営である。

『第2部 事例発表』

「脱炭素、節電対策の取り組みについて」

牛山電工(株) 代表取締役社長 吉田 忠将

電設資材、住宅設備機器、環境改善設備機器等を扱い、脱炭素に向けた省エネ改修なども手掛ける牛山電工株式会社の吉田氏より事例紹介をいただいた。

◆省エネ・再エネを取り巻く業界の流れ

・電気代の上昇について

原油・天然ガス・石炭の貿易コストの上昇により、電気代は年平均2%程度増加している。

・脱炭素社会実現を世界が目指す

SDGsの観点からも脱炭素実現がダイレクトに国や自治体、企業にとっての競争力になる。脱炭素団体等へ加盟する動きも、中小企業に広がりを見せている。

◆脱炭素達成に向けた対策

現状として、脱炭素をすぐに実現することは難しい。まずは、各企業が「再エネ電源を持つ」ことで、脱炭素実現に向けた取組を加速させることができる。電気代の削減、停電対策、環境貢献、各種補助金などの観点からメリットが大きいのは「自ら太陽光発電を所有する」ことであるといえる。

》 青年経営者部会 千葉・茨城との3県合同例会

日立製作所「オリジンパーク」視察会

(主催：茨城県経営者協会 青年経営研究会)

日時 2月9日(木)

場所 日立製作所「オリジンパーク」

参加者 全体25名(埼玉2名)



参加者集合写真

千葉・茨城・埼玉の3県合同例会を茨城主催で開催し、全体では25名、埼玉からは2名が参加した。

視察先は、2021年にオープンした、日立製作所「オリジンパーク」。1990年に日立鉱山の機械修理を行う部門として設立された同社の創業から110年以上のあゆみを伝える施設で、創業以来伝承してきた企業理念や創業の精神である和・誠・開拓者精神を、世界

中の人々と社会課題を解決してきた事例とともに紹介している。日立の原点である創業小屋や、「優れた自主技術、製品の開発を通じて社会に貢献する」との企業理念を掲げた創業者である小平浪平の創業に至るまでの道のりや、人物像や志なども併せて学ぶことが出来る。コロナ禍を経て3年ぶりに実現できた、近県での若手経営者同士の貴重な交流の機会となった。

シリーズ
第135回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
埼玉県経営者協会 専務理事 廣澤 健一 ☎ 048-647-4100 ✉ info@saitamakeikyo.or.jp



古びない人文知と進化するグローバル教育

教養学部長／大学院人文社会科学研究科 副研究科長 野中 進 教授

昨今、コロナ禍、ウクライナ戦争、エネルギー危機と世界が急激な変動を遂げています。このことは皆さまのお仕事、そして私たちの教育研究にも大きな影響を及ぼしています。人文系の学問でさえ、世界の変化と密接に関わらずにいられないことの例として、私の最近の取組みをご紹介します。

2020年春に新型コロナが世界的に猛威をふるい始め、多くの国々の大学ではオンライン授業となりました。私はウクライナで教鞭を取る友人、オリガ・ニコレンコ教授に連絡を取り、2020年12月から全5回のオンライン・セミナーを共催しました。埼玉大学とボルタワ教育大学の学生がそれぞれの国の歴史や文化について英語で発表し、議論を交わすという企画です。オンライン授業が本格化する以前には考えもしなかった企画ですが、思いがけず面白いものとなりました。

翌年2021年12月にはロシア軍がウクライナ国境近くで大規模な軍事演習を行うという不穏な空気の中、埼玉大学とボルタワ教育大学、リヴィウ大学の3大学でオンライン・セミナーを開催しました。セミナー期間中、政局の話は努めてしないようにし、

2022年1月の最終回でも明るく分かれましました。しかしその一月後にはロシア軍によるウクライナ進行が始まったのです。それ自体驚きでしたが、その戦乱がかくも長く続いたことはさらに大きな衝撃でした。

「今年のセミナーは無理かもしれない」と思っていたのですが、今回も2022年12月から全5回のセミナーを開催できました。もちろん、ウクライナの方々の疲労の色は濃く、接続状況も悪かったのですが、それでも日ウの学生たちは文学や文化、社会問題について熱い議論を交わし、友情に近いものも生まれました。

教養学部長として「古びない人文知と進化するグローバル教育」を掲げていますが、以上の例などはこのモットーの一例と言えるでしょう。伝統的な学問と現代世界の接点を今後も広げていきたいと考えています。



ボルタワ教育大学の
日本文化紹介ルーム「桜」

》産業への展開

上記のような教育が大学内だけで完結せず、地域の産業界の皆さんにも関心を持っていただき、インターンシップや人事採用につながるようになれば、素晴らしいことと思います。

学歴・略歴 野中 進 (のなか すずむ) 1967年神奈川県生まれ。東京大学大学院総合文化科学研究科博士課程単位取得退学。博士(学術)。1997年埼玉大学着任。2020年4月から現職。著書に『ロシア小説講義ノート』(教養学部リベラルアーツ叢書、2022年)、訳書にエルヴィン・ナグ『革命記念日に生まれて一子どもの目で見た日本、ソ連』(東洋書店新社、2020年)など。



人と調和する移動ロボット・対話システムを創る

大学院理工学研究科 数理電子情報部門 情報システム工学領域 小林 貴訓 教授

自動運転技術が実用化され、高速道路などでは、自動走行が可能になりつつあります。しかし、荷物運びロボットなどの人が活動する場所で協働する移動ロボットは、交通ルールの定められた道路での自動運転とは異なるアプローチが求められます。例えば、前から歩いて来た人を左右のどちらに避けようか迷ったことはありませんか？これから身近になる自動走行ロボットは、このような状況でも周囲の人の動きと調和して安全に移動できることが求められます。

私たちは、カメラやLiDARなどのセンサを使って人の動きを計測する技術と、自律移動ロボット技術を融合して、同伴者と一緒に移動できるロボット車いすや、声で指示をしたり、荷物を入れたいときにそばに来てくれたりするロボット買い物カートなど、人と協働する移動ロボットの開発を進めています。これには、ロボットがユーザの意図を理解して振る舞う必要がありますが、AI技術が進化した現在においてもユーザの意図推定は容易ではありません。

例えば、ユーザの振る舞いが同じであっても、場所や周囲の状況が異なれば、その意味が異なります。また、ロボットの反応の仕方によってもユーザの振る舞いは変化します。私たちは、環境と文脈を考慮して、ユーザの意図を理解するセンシング技術の開発と、ユーザの意図に応じてロボットが適切に振る舞うヒューマンロボットインタラクション技術の開発に注力しています。

また、ロボットや情報デバイスを用いた人と人のコミュニケーションの支援についても取り組んでおり、例えば、コンサートで使うペンライトをIoT化して自宅にいてもライブ会場に居るかのようになりを感じることができるシステムなどを作成しています。

これらのシステムのデザインには、人と人、人とシステムの間を調和させる社会学の知見やUXの方法論を活用しています。



ロボット買い物カート

》産業への展開

工場などでの搬送ロボットや農作業での収穫支援ロボットなど、人と一緒に活動する移動ロボット技術は様々な応用が可能です。また、公共空間での歩行者の動線解析など、人の行動センシング技術の応用も様々な考えられます。ぜひ、企業の皆様と一緒に技術の実用化に取り組んで行ければと考えております。

学歴・略歴 小林 貴訓 (こばやし よしのり) 2007年東京大学大学院情報理工学系研究科博士後期課程修了。博士(情報理工学)。埼玉大学大学院理工学研究科助教、准教授を経て、2020年より現職。コンピュータビジョン、ヒューマンロボットインタラクションに関する研究に従事。

連載
第116回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
埼玉県経営者協会 専務理事 廣澤 健一 ☎ 048-647-4100 ✉ info@saitamakeikyo.or.jp



塑性加工におけるデジタル技術

情報メカトロニクス学科 牧山 高大 講師

ものづくり大学塑性加工研究室では、①革新的塑性加工技術の開発、②塑性加工プロセス・プロセス設計デジタル化技術の開発、③塑性加工シミュレーション高精度化技術の開発の3つを柱として研究を進めています。そして、これら3つの領域にまたがる研究の実例として、軽量高剛性部材である変断面管(図1)のマンドレルレス逐次鍛造を提案しています。この研究の最終ゴールとして、コンピュータ上で設計した変断面管のCAD(Computer Aided Design)データを入力とし、加工条件を自動決定後、自動加工を行う一連のシステムの実現を目指しています。

主な開発項目の計画は次のとおりです。任意の変断面形状加工技術の開発では、種々の加工条件が成形性に及ぼす影響を体系的に調べ、加工特性を明らかにすることにより、加工が難しい薄肉化、高縮径率化、肉厚制御に向けて加工可能範囲の拡大を図ります。加工条件自動決定アルゴリズムの開発では、体系的に調べた離散的な成形性データを活用して機械学習援用により連続的な応答曲面を生成し、最適化を行うことでCADデータから加工条件を自動決定するCAM(Computer Aided Manufacturing)の

構築を図ります。成形寸法の高精度化技術の開発では、機械的性質ばらつきに起因する成形寸法ばらつきに対して、加工中にインプロセスモニタリングした成形形状から逆解析的に機械的性質を求め、CAMにフィードバックし加工条件を修正することで高精度化を図ります。

現在は有限要素シミュレーションと汎用加圧装置を用いた実験により、種々の加工条件が成形性に及ぼす影響を体系的に調べるどころから進めています。また、加工自動化について評価可能なCNC(Computer Numerical Control)逐次鍛造実験装置(図2)の設計・製作を進めています。

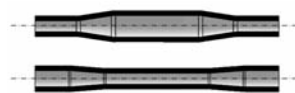


図1 軽量高剛性な変断面管の例

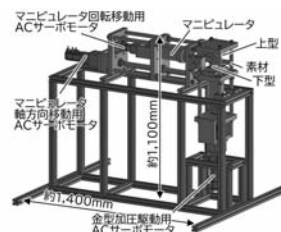


図2 CNC逐次鍛造実験装置

牧山 高大(まきやま たかひろ)講師 博士(工学) 電気通信大学大学院博士後期課程修了。株式会社日立製作所生産技術研究所を経て2019年4月より現職。塑性加工学会所属。



花と光を用いた空間演出

建設学科 大竹 由夏 講師

2022年度、行田市では、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が激減した花き農家の支援のため花いっぱい運動が開催されています。毎月第一土曜日には忍城公園境内や東小路などをライトアップする「希望の光」のイベントも開催され、多くの観光客で賑わっています。

大竹研究室では、市内で生産されたポット苗を用いた「花枠灯籠」と「花飾建築」のフォトスポット、ロス花を用いた花手水「水彩城花」の制作させて頂きました。忍城公園境内の「花枠灯籠」と浮城の径の「水彩城花」はライトアップイベント期間、ヴェールカフェ(旧忍町信用組合)前や忍城近くに展示した「花飾建築」は8月から3月まで展示させて頂いています。

「花枠灯籠」は、プランターの中に、ポット苗やライトをアレンジすることで、和の空間を演出しました。多数のプランターが必要であったため、レーザーカッターを用いて制作しました。月に1度しか使用しないプランターは、4サイズ重ねて収納できるようにし、素早く展示、片付けができるように計画しました。「水彩城花」は、3Dプリンター等を用いて制作した忍城や田楽踊り古墳などのオブジェと花を一緒に池に浮かべ、ライトアップしました。「花飾建築」

は、フォトスポットから旧忍町信用組合や忍城を花で装飾したように見える作品です。外から眺めるだけでなく、花台の中に入り花で囲まれた空間を体験できます。

2023年度は、学園祭にて、プロジェクションマッピングと花手水、ライトアップと音を融合した空間演出を予定しています。これからも、ものづくり大学だからこそできるデザイン、教育に挑戦していきたいと思います。



花飾建築



水浮城花

大竹 由夏(おおたけ ゆか)講師、筑波大学大学院 人間総合科学研究科 博士後期課程修了【博士(デザイン学)】、一級建築士、2017年4月からものづくり大学に着任、現在に至る。日本建築学会会員(連絡先:048-564-3866/otake@iot.ac.jp)

埼玉県からの お知らせ



コバトン

円滑な価格転嫁を促進するための「価格交渉支援ツール」を提供しています

埼玉県では、円滑な価格転嫁を促進するため、企業が価格交渉を行う際に活用できる支援ツールを作成しました。

価格交渉を行う際に活用できる、原材料・サービス・人件費の価格推移の根拠資料を作成することができます。

県ホームページから無料でダウンロードできますので、御活用ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/library-info/kakakukoushoutool.html>

詳細はこちらから→



○特徴

・表計算ソフトを使用し主要な原材料等価格の推移を示す資料を簡易に作成可能

・日本銀行等の公表データ※に基づいており、正確性を担保

※原材料等の価格推移には「国内企業物価指数」「輸入物価指数」「企業向けサービス価格指数」(いずれも日本銀行調査統計局)のデータを使用。人件費の推移には、「毎月勤労統計調査」(厚生労働省)を使用。

・データは月に一度更新

○問い合わせ先

県産業労働政策課
(048-830-3702)

埼玉県中小企業制度融資の御案内

県では、中小企業者の皆様に事業に必要な資金を円滑に調達していただくための融資制度を設けています。

カーボンニュートラル、DX、事業再構築に向けた設備投資を行う県内中小企業者を支援するために、設備投資促進資金において融資利率を従来よりも0.1%引き下げています。

○設備投資促進資金(カーボンニュートラル、DX、事業再構築)

融資限度額 1億5,000万円

融資利率 年1.0～1.4%以内(4月以降の利率です)

保証料率 年0.45～1.64%以内

また、新型コロナウイルス感染症やエネルギー・原材料価格高騰の影響を受けた中小企業者向けの「伴走支援型経営改善資金」について、他の資金よりも事業者負担の上昇を0.2%軽減します。

○伴走支援型経営改善資金

融資限度額 1億円

融資利率 年0.9～1.2%以内(4月以降も同じ利率です)

保証料率 年0.2%(一般保証は0.2～1.15%)

詳細はこちらから→



○受付機関

設備投資促進資金は商工会議所又は商工会

伴走支援型経営改善資金は県制度融資取扱金融機関

※融資に当たっては金融機関及び信用保証協会の審査があります。

○問い合わせ先

受付機関又は県金融課
(048-830-3801)

埼玉県障害者雇用優良事業所認証について

県では、県内で障害者を率先して雇用し、その能力の活用に積極的な事業所を埼玉県障害者雇用優良事業所として認証しています。

認証を受けた事業所には「認証マーク」を付与するほか、障害者雇用への取組内容などを県のホームページ掲載等を通じて広く紹介します。

次に掲げる要件をすべて満たしている事業所を認証しています。

- 1 県内に所在する事業所であること。(注1、注2)
- 2 障害者実雇用率が2.6%以上であること。(注3)
- 3 過去3年間において労働関係法規を遵守していること。
- 4 公序良俗に反する事業を行っていないこと。

(注1) 本社(国への障害者雇用状況報告を行う企業の主たる事業所)の所在地が埼玉県以外の場合は、支店、営業所、工場など「事業所単位」で認証を

受けられますが、企業全体の障害者実雇用率が法定雇用率を超えている必要があります。

(注2) 本社が埼玉県内にある場合は、事業所単位での認証をお受けできません。本社からの一括申請となります。

(注3) 就労継続支援A型事業所の利用者は除きます。

詳しくは、以下までお問い合わせください。

○問い合わせ先

県雇用労働課
(048-830-4536)

令和5年度前期技能検定試験実施のお知らせ

技能検定は様々な職種で働く人の技能を評価する国家検定制度で、企業や学校で長年にわたり技能の向上に活用されています。

県では、建築大工や機械検査など約40職種の検定を実施しますので、是非とも御活用ください。

○試験日程

令和5年6月～令和5年9月
(検定職種により異なります。)

○受検案内・受検申請書配布場所

県職業能力開発協会(さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎5階)他

○受検申請方法

令和5年4月3日(月)～14日(金)に受検申請書を同協会へ提出

○受検手数料(各等級・職種共通)

学科試験のみ: 3,100円

実技試験のみ: 18,200円

実技と学科の両方: 21,300円

※本年4月1日現在25歳未満の在職者の方は、2級又は3級実技試験の受検手数料を9,000円減額

○問い合わせ先

・受検申請・実施職種について
県職業能力開発協会

(048-829-2802)

<http://www.saitama-vada.or.jp/>

・技能検定制度全般について

県産業人材育成課

(048-830-4602)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0811/kentei/index.html>

武蔵野銀行アプリ

リニューアルしてさらに便利になりました！

ダウンロードはこちら

グルメ・
レジャー等
お得なクーポン
配信中！




Download on the
App Store

ANDROID APP ON
Google play



経営者の皆さまの“こまりごと”の解決を 私たちが全力でサポートします！

- ビジネス創出の機会をご提供します。
- 経営のフォローアップに努めます。
- お客様のニーズを共に考えます。
- 各種ソリューションをご提供します。



りそにゃ




全国ネットの人材情報で、 出向・移籍等の支援！

お気軽に
ご相談ください

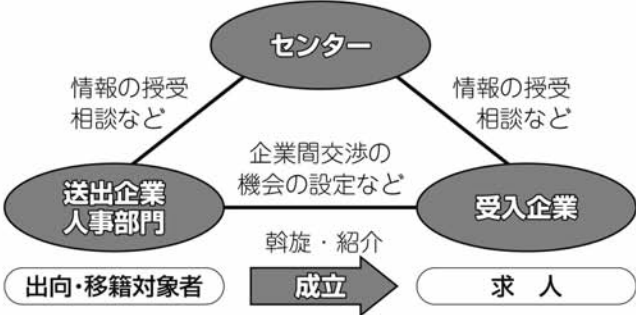
企業間の人材マッチングを
サポートしています。

信頼と安心

経済・産業団体と
厚生労働省の協力
で設立された公益
法人です。

無 料

情報の提供、相談、
あっせん費用は
かかりません。



●お問い合わせ
埼玉 産業雇用安定センター 事務所 ☎048-642-1121(土・日・祝日休)
<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

皆様の職場を支える新たなパワーとして シルバー人材センターを活用してみませんか！

求人・人手不足に
お悩みの事業主様へ

3つのメリット

- ① 知識や経験**
豊富な知識や経験、技能を持つ会員が、
多様な仕事に対応します。
- ② 身近で便利**
県内59箇所に設置。全県をカバーしています。
早朝や夕方、土日、短時間の仕事などにも対応します。
- ③ 安心で丁寧**
公益的、公共的な団体なので安心です。
丁寧、実直に仕事に取り組みます。

主な業務内容

事務分野

- 一般事務 ● 経理事務
- 毛筆筆耕、宛名書き

屋内外の一般作業

- 清掃
- 梱包、包装、検品、仕分け
- 除草


技能を活かす分野

- 植木剪定
- 和洋裁


サービス分野

- 保育、介護補助
- 品出し、接客
- 営業

●シルバー人材センターとは
「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき設立
された公益法人です。地方公共団体をはじめ、企業や家庭な
どから高齢者にふさわしい仕事を引き受け、シルバー人材セ
ンターの会員に提供しています。



埼玉県シルバー連合 検索



公益財団法人 **いきいき埼玉** 〒362-0812 伊奈町内宿台6-26
(埼玉県シルバー人材センター連合) 埼玉県民活動総合センター内

お問い合わせはお近くの
シルバー人材センターへ

TEL 048-728-7841 FAX 048-728-2130



弁護士 安西 愈

使用者は労災認定の蚊帳の外

いわゆる過労死や、過労自殺などについて、労働者や遺族が労災保険給付の申請をした場合、業務上認定の要素は時間外労働時間のウエイトが大きく、労働者の勝手な自宅持ち帰りや指示によらない業務の労働もあり、それらの時間を含めて労基署長が労災と認定したとき、使用者にとってはその認定が判断誤りと思えるときもあり得る。もし監督署長が判断を誤り、遺族等に保険給付した場合、その給付額は後に労災保険料のメリット制により労働保険料の増額となって使用者に大きく跳ね返ってくる。

最近のように「労災認定基準」が次第に緩和され、労基署長の裁量が大きくなると労災認定が誤りではないかと使用者が思うケースも生じてきている。

そうした場合も、労災認定は請求者である労働者や、遺族等と国（労基署長）との間のことで使用者は当事者外となっている。そして、労災が認定されたかどうかや、給付金額等といったことなどは一切使用者には知らされないのが現実である。

使用者に重大な影響があるのに争えない

使用者は、労災補償義務を負い、労災保険料を負担し、労災の業務上外認定について労基署長の職権調査の対象となり、必要な資料の提出義務を負うのに、労災認定の結果については門外に置かれている。

しかし、誤った認定で労災保険給付が行われた場合、その給付額は多額となり、いわゆるメリット制の適用により、連続する3保険年度の最後の年度の翌々年度からメリット制によりその間の給付額を基準に最大限プラス40%の範囲で労働保険料が増額されその金額も大きくなる。

それにもかかわらず、労災保険の業務上認定による労災保険支給処分については、使用者は当事者でないからといって原告適格を有しないとして排除されてきた。

事業主に署長の労災認定を争う適格有りと判決

このように、問題視されてきた使用者を門外におく従来の取扱いについて、前記メリット制適用の観点から、最近の東京高裁判決で「労災保険給付の要件における業務起因性の有無それ自体が認定事実の問題であるとしても、その認定に基づき本件処分が行われた結果、特定事業主の保険料額に少なからぬ増額が見込まれることに照らせば、特定事業主が誤った業務災害支給処分の取消しを求める法律上の利益を有する」とし「控訴人（事業主）は本件各処分の取消訴訟の原告適格を有する」とする判決（令和4.11.29判決）をした。

厚労省は、この判決の直前から「有識者会議」を設置して、この問題の検討をはじめ、令和4年12月13日に報告をまとめ、事業主には「保険料認定処分の不服申立等において労災支給処分の支給要件該当性（業務上外）に関する主張を認める」ことが適当として認定処分を争えるとした。なお、ここで認定が取り消されても保険給付の方はそのまま取り消さないとしている。

告知版

》 令和5年度第1回 理事会・幹事会

理事会・幹事会

日時 4月18日(火) 14:40～18:00
会場 バレスホテル大宮
配信 zoomによるオンライン
内容 議案・講演会・懇親会
講師 株式会社 True Data 代表取締役社長 米倉 裕之氏

》 令和5年度埼玉県産業労働部主要施策説明会

その他

日時 4月24日(月) 14:00～16:00
会場 ソニックシティ 403・404

》 令和5年度第1回「人事・賃金講座」 目標管理の設定&フィードバック

その他

日時 4月27日(木) 13:30～16:30
会場 ソニックシティ 906
講師 経団連事業サービス・人事賃金センター長 平田 武氏

》 令和5年度定時総会

定時総会

日時 5月16日(火) 13:30～16:50
会場 バレスホテル大宮
内容 令和4年度決算・事業報告、令和5年度予算・事業計画
講師 榎立飛ホールディングス 執行役員 地域貢献推進室
スポーツプロデューサー 刈谷 富士雄氏

》 1on1 ミーティング 3DAYS セミナー

委員会

日時 ①5月25日(木)、②6月21日(水)、③7月18日(火)
会場 ソニックシティ 401・402 (①、②)、403・404 (③)
内容 「基礎行動」「実践行動」「応用行動」の体得
講師 ビジネスコーチ株式会社
パートナーエグゼクティブコーチ 加地 照子氏

》 キャッシュフローの重要性を理解し、 実務で使える知識・スキルを身につける

その他

日時 6月5日(月) 13:30～16:45
会場 ソニックシティ 906
内容 キャッシュフローの理解と改善
講師 川口宏之公認会計士事務所 代表
公認会計士 川口宏之氏

》 令和5年度労働法実務講座 全4講

その他

日時 ①6/7(水) ②6/14(水) ③6/22(木) ④6/28(木)
会場 ソニックシティ 906
内容 労務管理上必要な労働法の実務知識などの理解
講師 外井・鹿野法律事務所 弁護士 外井 浩志氏

》 第4回原会長杯争奪戦会員親睦ゴルフ大会

ゴルフ

日時 6月9日(金) 8:35スタート
会場 武蔵カントリー倶楽部 笹井コース

会員の動き

新入会員のご案内

㈱アサヒコミュニケーションズ

代表取締役 新井 貴之
鴻巣市本町 4-3-23
電話 048-541-5152
(資) 4,000万円 (従) 50名
広告戦略・クリエイティブ・印刷/
加工・Webプロモーション・広告代理・
区分け/梱包/発送業務/倉庫保管

㈱グローバルコネクション

代表取締役社長 朴 永虎
和光市下新倉 3-14-66
電話 048-487-8731
(資) 1,000万円 (従) 7名
輸入卸売・小売業

三共木工㈱

代表取締役副社長 森田 精一郎
川越市大字今福 2776-2

電話 049-243-4011
(資) 1,580万円 (従) 13名
段ボール製品製造・販売

㈱J's Factory

代表取締役 保屋野 義彦
さいたま市大宮区宮町 1-38-1
電話 048-649-0400
(資) 3,000万円 (従) 30名
自動車部品・家庭用電気機器・電子
部品の加工並びに組立。人材派遣業、
有料人材紹介業

㈱デジタルベリー

代表取締役 赤羽根 康男
さいたま市中央区新都心 11-2
ランド・アクセス・タワー 19F
電話 048-753-9255
(資) 1億円 (従) 20名
ホームページ制作

TOSYO(株)

代表取締役社長 中川 貴文
越谷市弥生町 2-16 弥生ビル 2F
電話 048-972-4091
(資) 300万円 (従) 20名
卸売小売業、印章関連及びキャラク
ター雑貨、配送代行サービス

代表者変更

戸田中央医科グループ 一般社団法人

TMG 本部
会長 中村 毅(旧 代表理事 中村 隆俊)

学文佐藤学園

理事長 安達原 文彦(旧 佐藤 英樹)

㈱ますいリビングカンパニー

代表取締役
増井 真也
(旧 取締役会長 増井 千恵子)

㈱丸広百貨店

代表取締役社長
伊藤 敏幸(旧 神谷 勉)

武蔵貨物自動車㈱

代表取締役社長
大津 進(旧 増田 力)

㈱リケン 熊谷事業所

事業所長
増田 遼一(旧 須藤 宏紀)

ワールド工業㈱

代表取締役社長
吉竹 直行(旧 野積 晟)